

2010年12月10日(金)

報道関係者各位

笹川平和財団

【個別取材・同行取材のご案内】
医介補制度の経験などを学ぶために、ミクロネシア連邦から
8名の医学生が12日に来日、沖縄県各地を訪問

笹川平和財団(SPF)・笹川太平洋島嶼国基金は、12月12日～18日にかけて、ミクロネシア短期大学でヘルス・アシスタントコースを受講する8名の学生を日本に招聘します。一行は滞在中に琉球大学医学部関係者との交流(13日)、沖縄県立南部医療センター訪問(14日)、国頭郡大宜味村の視察(15日～16日)などを予定しています。

10万人に及ぶ人々が65の島で暮らすミクロネシア連邦では、医療人材が慢性的に不足しています。そうした状況下において、地域の診療所で限定的な医療行為を行い、規模の大きい病院での治療の必要性を判断するヘルス・アシスタント(HA)の役割が重要視されています。

同国では、唯一の高等教育機関であるミクロネシア短期大学でHAを対象とする教育が実施されていますが、志望者が少ないことや教員の能力不足などの制約があるため、現地での需要を満たすまでには至っていません。また他の医療職と比べ、HAに対する支援枠組みは十分に整っておらず、彼らが研修などを通じて医療技術を向上する機会は大幅に制限されています。

笹川平和財団は、HAの医療技術や医学知識向上を支援するために、本年7月に「ミクロネシア医療関係者交流」事業を開始しました。今回の招聘を通じて、医介補という類似する制度を有していた沖縄県の関係者と交流する場を設けることにより、HAコースの学生による医療保健分野への関心を喚起するとともに、日本におけるミクロネシア連邦の医療事情にかかわる理解が促進されることが期待されます。

個別取材・同行取材をご希望の方は、以下の担当までご連絡下さい。

笹川平和財団 笹川太平洋島嶼国基金(世古)
電話:(03)6229-5444 携帯(11日以降):080-5469-6576
Email: seko@spf.or.jp

笹川平和財団(SPF)はグローバルな視点に立ち、国際的な公益活動を行っている民間公益財団です。笹川太平洋島嶼国基金は、SPF内に設置された特定基金の一つで、太平洋島嶼国を対象に、海洋国家としての平和と連携への協力、島嶼国の自立への協力にかかわる事業を支援・実施しています。